

新聖殿建設は救国救世の基盤2

神様との親子関係の中で、人間の死は神様の悲しみになるため本来は永世しなければならぬはずなのです。しかし、何か問題が生じてしまったためこのような世界になってしまった考えることができます。私たちは根本真理がわかれば全て解決することができます。そして人生は3段階です。腹中から天国へ直行すればよいのではと考えてしまいますが、霊界は愛の世界ですので、地上で愛の成長を成す期間が必要になってきます。子女、親、兄弟の愛を育て、男女の夫婦の愛を育て、その子女を育てながら愛する、そして、孫を愛する、そのような期間を通して愛を成長させていかなければなりません。それがまさしく地上での生活ということになるのです。家庭は愛の訓練所です。天国は愛を持って生活する所です。この世は人生の2段階に焦点を合わせているため霊界があいまいになっています。一番霊界を勉強しないとイケないのです。老後を心配するより霊界を心配しないとイケないのです。2020年までに韓国(もしくは日本、アメリカ)が機関ならば機関が氏族メシヤの責任である430家庭以上の伝道を全うしなければなりません。人生の3段階を考えれば、氏族メシヤの勝利を成すことが一番良い事なのです。世界の名誉を持っていたとしても誰にもそれは一時です。しかし、真の父母思想の中では、どのような実績を持ちどのような責任を果たしたかにより永遠であり、真の主人になることが出来るのです。人間はこのように被造世界の中心に創造されたのであり、神様と人間が合成一体化した位置がまさに宇宙の中心となる位置であります。天地人父母様は神様の実体なのです。あらゆる武器を備えているのになぜその武器を使いこなせないのでしょうか？寝ても覚めても真の父母について伝えなければなりません。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
2. 東埼玉教区 壮年部集会
日時:12月6日(日)16:00~
場所:浦和北家庭教会
3. 嫁さん弁当
日時:12月9日(水)
4. 第9回 天一国フェスティバル
日時:12月23日(水) 13:30~
場所:久喜総合文化会館
5. 2016年1月 第17回「神氏族メシヤ修練会」の開催場所と日程の変更について
変更前
日程:2016年1月16日(土)~1月19日(火)3泊4日
場所:天宙清平修練苑 親和教育館B館
変更後
日程:2016年1月16日(土)~1月17日(日)1泊2日
場所:一心特別教育院(千葉県浦安市)
6. 2016年度平愛奨学生の募集について
【対象】日本の学生(高校生・大学生)計250名
1. 日本の高校生: 100名
A) 成績優秀者: 30名 学業成績において優秀な者
B) 活動優良者: 20名 教会・各種活動において優良な者
C) 福祉対象者: 50名 上記要件に該当しつつ、特に家庭が生活に困窮する者
2. 日本の大学生: 150名
A) 成績優秀者: 30名 学業成績において優秀な者
B) 活動優良者: 20名 教会・各種活動において優良な者
C) 福祉対象者: 100名 上記要件に該当しつつ、特に家庭が生活に困窮する者
☆ Web名簿報告締切12月17日
7. 基元節3周年&祝福行事
天一国4年天曆1月13日(陽曆2016年2月20日)に「基元節3周年記念及び2016天地人真の父母天宙祝福式(仮称)」が予定されています。日本からの参加予定は4000名です。

【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



宗教法人 世界平和統一家庭連合
FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION

浦和家庭教会

(旧 世界基督教統一神霊協会)

教区長: 鄭日權 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel: 048-886-8774 / Fax: 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

日曜礼拝式次第



説教者：鄭 日權教区長

司会者：田川 敏

伴奏者：町田滋子

開	会		
黙	禱	全 体
※聖	歌 聖歌 38番	全 体
※敬	拝	全 体
※家	庭 盟 誓 (韓国語)	全 体
※年	頭 標 語	全 体
	全 体 祈 禱	全 体
	聖 歌	聖歌隊
	み 言 訓 読	全 体
説	教	天運天福は天地人真の父母様からのみ	
	聖歌と献金 聖歌 57番	全 体
	感謝祈禱	塚田絹子
	お知らせ	司会者
※祝	禱	執礼者
※全	体 祈 禱	全 体
閉	会		

※起立して進行します

『生めよ、殖えよ、地に満ちよ、萬のものを治めよ』

今週のみ言

皆さん、2020年までに韓国が、機関ならば機関が、氏族メシヤの責任である430家庭以上の伝道を全うしなければなりません。今、私たちが恐れることがありますでしょうか？私たちはとても多くを得ています。自信を持っています。何故誇ることが出来ないのですか？教会が自分の家庭を救ってくれる有難い場所であるということをお伝えしなければなりません。世界の名誉を持っていたとしても誰にもそれは一時です。しかし、真の父母思想の中ではどのような実績を持ち、どのような責任を果たしたかにより永遠でしょう。真の主人になることが出来るでしょう。先駆者になるでしょう。天の父母様の前に孝子、忠臣となれる道があるでしょう。それは誰もが出来ることではありません。真の父母様の中でのみ可能なのです。分かりましたか？私たちは全ての焦点をそこに合わせなければなりません。国家基盤の造成のためには教会が発展しなければなりません。そして、教会の発展のためには祝福家庭が増えなければなりません。そうすることにより善なる国、神の祖国となるのです。サタンが存在し得ない、サタンが隙間に入ることのできない、そのような国になってこそ、この国が当面した南北問題など全てのものが解決されます。政治家たちが解決できません。あらゆる武器を備えているのになぜその武器を使いこなせないのですか？寝ても覚めても真の父母様について伝えなければなりません。その道のみが私たちが、私が、私の家庭が、この国が生きる道であり、世界が生きる道です。

統一運動

「祝福推進センター」が開設

祝福二世の祝福推進を本格化させるために望まれてきた「祝福推進センター」が11月11日、いよいよオープンとなりました。この日、東京・渋谷の光言社ビル1階で行われた開所式には、佐野邦雄家庭教育局長、多田聡夫家庭教育部長、松山平男家庭部長をはじめ家庭教育局のスタッフ、また父母委員会の委員やマッチングアドバイザーなど50人が参加。司会者による開式の報告祈祷の後、佐野局長、父母委員会の横井捷子委員、千葉中央修練所の中村惣一郎所長、笹田俊明・祝福推進センター長の4人により除幕が行なわれました。除幕の後、笹田センター長(1800家庭会会長)は「もともとガレージであったこの場所から、北海道から沖縄、そして全世界に祝福を拡大していきたい」と挨拶。続いて二世祝福推進委員会の畠山憲太郎事務局長が経過報告を行い、「このセンターは①情報センター②教育センター③交流センター④相談窓口⑤国際祝福推進の窓口—の5つの機能をもって推進を図ります」と説明しました。

同センターは、急増していく二世青年ならびにその家庭(父母)に対する教育、父母自身によるより自主的な活動、より体系的な祝福サポートを推進していくため、事務局を家庭教育局内に設置。具体的には今後、①二世祝福候補者に対する祝福前教育の企画・実施、②各祝福双の祝福推進委員を中心に、今まで交流の少なかった各祝福双の壁を越えて親同士が深く交流し、加速度的にマッチング・祝福を推進、③祝福後のケア・教育を充実させ、互いに支援しながら祝福家庭の共同体(コミュニティー)を実現—などを進めていきます。

2015年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2015年 活動指針

1. 訓読の伝統確立
2. 青年・学生伝道強化
3. 神氏族メシヤ責任完遂
4. 真の家庭国民運動展開